

岩手労福協

発行

(一社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F
TEL (019) 654-3082

発行責任者 八幡 博文
編集責任者 菅野 健司

No.158 2019年6月26日発行

第75回定時総会開催

連帯・協同で 安心・共生の 福祉社会をつくろう!

岩手労福協は、5月27日(月)、第75回定時総会をホテルニューカーリーナにおいて正会員22団体中22団体(書面議決書提出2団体含む)が出席して開催しました。

総会は、石川昌平副会長の開会挨拶で幕を開け、議長に岩手県学校生活協同組合の沼田聡氏が選出されました。八幡博文会長は冒頭、この一年を振り返り、「事業方針に基づき多くの行事を実施した。奨学金アンケート調査や連合と共同で取り組んだ要請行動など運動体としての労福協も十分にPRできた。」とし、東日本大震災復興に関して、「ハード面の整備はほぼ完了に近づいているが、生活格差など新たな課題が浮上している。心のケアを含めた取り組みを各地区協議会や労働団体・福祉事業団体と協力しながら、引き続きそのフォローに努めていきたい。」と、理事会を代表して挨拶を述べました(会長挨拶要旨は2頁に掲載)。来賓として、菊池芳彦岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室長、及川隆盛岡市商工観光部経済企画課長に出席いただきご祝辞を賜りました。

議事では、第1号議案「2018年度事業報告」、第2号議案「2018年度会計報告並びに監査報告」、第3号議案「理事及び監事の報酬等」、第4号議案「2019年度団体会費」を菅野健司専務理事が提案し、監査報告は赤坂徹監事が報告しました。質疑の後、採決が行われ、全ての議案が原案どおり賛成多数で可決承認されました。

最後に、齋藤健市副会長が閉会の挨拶を述べ、第75回定時総会が終了しました。



●2019年度役員名簿

会 長	八 幡 博 文 (日本労働組合総連合会岩手県連合会)
副 会 長	砂 金 良 昭 (東北労働金庫岩手県本部)
副 会 長	齋 藤 健 市 (こくみん共済coop(全労済)岩手推進本部)
副 会 長	石 川 昌 平 (岩 手 友 愛 会)
専務理事	菅 野 健 司 (電機連合岩手地域協議会)
常務理事	佐 藤 伸 一 (日本労働組合総連合会岩手県連合会)
理 事	上 田 高 (一般財団法人ハビネス共済会)
理 事	佐 藤 浩 之 (消費者信用生活協同組合)
理 事	川 村 元 (岩手県学校生活協同組合)
理 事	鈴 木 圭 (岩手県東北電力関連産業労働組合総連合)
理 事	佐 藤 淳 一 (岩 手 県 教 職 員 組 合)
理 事	谷 藤 学 (情報労連岩手県協議会)
監 事	菅 原 芳 勝 (東北労働金庫岩手県本部)
監 事	赤 坂 徹 (こくみん共済coop(全労済)岩手推進本部)

※野中靖志氏は、2019年3月31日付けで副会長(理事)を辞任した。

2019年度事業計画の紹介

2019年度事業計画における主な活動内容を紹介します。今年度も勤労者とその家族の安心・安全をめざして、①文化・教育事業、②相談事業、③健康促進・交流事業を計画に沿って実施します。振るっての御参加をよろしくお願いします。

活動の基調

1. 労働団体、福祉事業団体との連携を一層強め、労働者自主福祉運動の基盤強化に努めます。
2. 「ライフサポートセンターいわて」の充実を図り、勤労者とその家族の暮らしの安心・安全をめざします。
3. 地区労福協・勤労協と連携を強め、労働者自主福祉運動の地域への浸透と組織の強化を図ります。
4. 福祉事業団体や関係団体と連携し、勤労者と家族の生涯福祉・生涯取引の取り組みをめざします。
5. 中央労福協・北部労福協と連携し、社会的公正に向けた取り組みを進めます。

第6回ヨガ教室（2019年度健康促進セミナー）

〔日時・会場〕

開催地	日程	時間	会場
盛岡市	7月6日(土)	10:00～12:00	アイーナ
北上市	7月13日(土)	10:00～12:00	北上市総合福祉センター
遠野市	7月20日(土)	10:00～12:00	JAとおの生活センター

〔募集〕各会場20名（先着順）

〔参加〕無料 ＊ヨガマット進呈

〔講師〕越後 美代子 氏（NPO法人国際ヨガ協会理事長・東北地区代表理事）

第6回労働者自主福祉運動の理念・歴史講座

〔日程〕9月9日(月)14:00～10日(火)12:00

〔会場〕ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

〔概要〕今年は、北部労福協主催の理念・歴史講座が盛岡市で開催されることから、岩手労福協の理念・歴史講座を合同開催します。つきましては、構成団体に動員の要請を行います（40名程度）。

八幡会長挨拶要旨

この一年間、事業方針に基づき、くらしの何でも相談事業をはじめ、退職準備サポート研修会、労金運動・全労済運動の歴史を学び今後の労働者自主福祉運動の発展を目指し取り組んでいる理念歴史講座、さらには勤労者美術展など多くの行事を実施した。特徴的な取り組みとしては、全国福祉強化キャンペーンにおいて奨学金や教育費負担にかかるアンケート調査、連合と共同で取り組んだ奨学金制度の充実と自転車損害賠償保険条例制定などの要請行動があげられる。運動体としての労福協も十分にPRできたと思う。

東日本大震災津波から8年2カ月あまりが経過し、復興計画に基づくハード面の整備はほぼ完了に近づいている。その一方で、復興工事終了後の産業の維持、その後の持続性、加えて仕事と人員とのミスマッチなど新たな課題が浮上、またその過程において、個人差、いわゆる生活の格差を事実として捉えなければならない。労働福祉団体としては、むしろこのような部分にしっかりと光をあてて、心のケアを含めた取り組みを各地区の協議会や労働団体・福祉事業団体の皆さんと協力しながら、引き続きそのフォローに努めていきたい。さらには、今後超少子高齢化社会が加速度をあげていく中で、格差の問題を含めた現実問題を直視した中での政策提言を行っていくことも労福協運動に課せられた使命である。構成団体のこれまで以上の御理解と御協力をお願いしたい。



2019年度退職準備サポート研修会

〔日程・会場等〕

開催地	日程	時間	会場（予定）
盛岡市	9月14日（土）	午前中	ふれあいランド岩手
北上市	9月21日（土）	午前中	北上オフィスプラザ
一関市	9月28日（土）	午前中	一関市総合防災センター

〔募集〕 各会場100名（先着順）

〔参加〕 無料

〔研修内容〕 ①年金制度概要と社会保険（日本年金機構年金事務所）
 ②退職後のお金活用策（東北労働金庫岩手県本部）
 ③退職後の保障設計（こくみん共済coop〈全労済〉岩手推進本部）
 ④退職後の生活に備えるために（消費者信用生活協同組合）
 ⑥地域での自分のあり方（市民協岩手・菅原理事長）

第31回岩手県勤労者野球大会

〔日程〕 10月20日（日）

〔場所〕 雫石町営鶯宿グラウンド

〔募集〕 8チーム（限定）

〔参加〕 無料

〔内容〕 トーナメント方式、優勝チームに知事賞授与

第38回岩手県勤労者美術展

〔日程〕 12月5日（木）～8日（日）

〔会場〕 岩手県民会館 展示室

〔募集〕 絵画の部、写真の部、書道の部

〔申込〕 無料

〔表彰〕 各部門に知事賞、奨励賞など各賞あり

第24回岩手県勤労者ボウリング大会

〔日程〕 2020年2月8日（土）（予定）

〔場所〕 盛岡スターレーン（予定）

〔募集〕 18チーム（1チーム4名、先着順）

〔参加費〕 1チーム 4,000円

〔内容〕 2ゲーム合計点で順位を決め表彰します。
 団体賞、個人賞など

相談事業 （ライフサポート事業 「暮らしの何でも相談」）

〔内容〕 生活に密着する問題の解決に向け、連合岩手の相談員、および関係諸団体と連携しながら、勤労者の生活全般における悩みの解決・解消をめざします。

〔対応〕 通年、平日午前10時～午後5時まで受け付け

〔拠点〕 盛岡市（岩手労福協事務所内）
 北上市（連合花巻北上地協事務所内）
 宮古市（連合宮古地協事務所内）

〔相談員と相談ダイヤル〕

盛岡：法領田 万寿男（LSCいわて事務局長）
 0120-804-340

北上：村 上 純（LSCいわて理事）
 0120-805-340

宮古：佐々木 正 人（LSCいわて理事）
 0120-807-340

ろうきん自治体提携融資の利子補助事業とは？

この事業は、労働者の福祉向上に資することを主目的に、「ろうきん自治体提携融資」利用者に対して、利子の一部を岩手労福協が補助する制度です。利子補助額は、上限を3万円とし、借入額10万円につき1,000円を補助します。問合せや申込みは、東北労働金庫岩手県内各支店の窓口までどうぞ。

事業報告

■第23回岩手県勤労者ボウリング大会開催

岩手労福協は、第23回岩手県勤労者ボウリング大会を2019年2月2日(土)に盛岡スターレーンで開催しました。今大会には、昨年よりも3チーム多い15チーム(59名)の参加がありました。

午前10時30分にゲームが始まり、一投ごとに歓喜の雄叫びや落胆のため息がこぼれておりました。1チーム4人、1人2ゲームのトータルスコアで順位付けがされ、団体の部は「電労岩手支店支部B」チームが優勝しました。ボウリングというスポーツを通じて仲間の交流が生まれ、健康増進に寄与したものと思います。



ボウリング大会

○団体の部 優勝 電労岩手支店支部B(盛岡) トータルスコア1300ピン

準優勝 西浦BK2019 (江刺) トータルスコア1226ピン

第3位 二戸市役所 (二戸) トータルスコア1162ピン

○個人の部〔男子〕優勝 互野貴士(電労岩手支店支部B、盛岡) 410ピン

準優勝 千葉幸弘(平泉町職員組合、一関) 371ピン

第3位 高橋渉(岩手県交通労組・紫波、盛岡) 344ピン

〔女子〕優勝 八重樫真利子(そだねー北上、北上) 326ピン

準優勝 英輝子(西浦BK2019、江刺) 321ピン

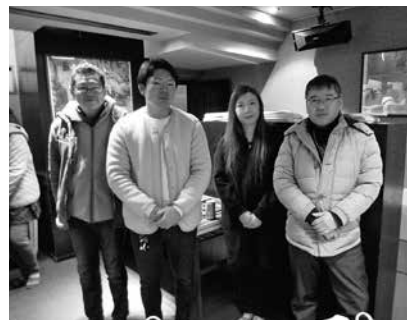
第3位 山崎志津江(電労岩手支店支部A、盛岡) 297ピン



優勝 電労支店支部B チーム



準優勝 西浦BK2019 チーム



第3位 二戸市役所チーム

■第5回連合岩手・労福協合同チャリティーゴルフコンペ開催

連合岩手と合同開催の第5回チャリティーゴルフコンペは、5月25日(土)、36名が参加して盛岡南ゴルフ倶楽部で行われました。当日は絶好のゴルフ日和に恵まれ、参加者はスコアメイクに奮闘しながら心地よい汗を流しました。

表彰式では、八幡会長が労いの挨拶を述べ、各賞の表彰が行われました。今年の優勝は運輸労連の吉田秀一さん、優勝者の名前は優勝カップにその名を刻し永く栄誉を称えます。なお、今回のチャリティー収益金36,000円は、フードバンク岩手の活動支援に全額寄付する予定です。

○優勝 吉田秀一(運輸労連) グロス86、ネット69.2

○準優勝 杉山剛(自動車総連) グロス92、ネット70.4

○第3位 本田俊哉(全労済岩手推進本部) グロス91、ネット70.6

■2019年度文化体育事業実行委員会

今年度の文化体育事業実行委員会の構成員は、表の方々です。本委員会は、文化体育事業の具体的な運営等にあたります。5月29日(水)、第1回実行委員会が開催され、委員長に及川美佳子さん(連合岩手副事務局長)を選出しました。委員会では、年間計画と事業概要が確認されました。

役職名	氏名	所属
委員長	及川 美佳子	日本労働組合総連合会岩手県連合会
委員	金田一 文 紀	平和環境岩手県センター
委員	佐藤 茂 生	岩手友愛会
委員	刈谷 俊 之	東北労働金庫岩手県本部
委員	菅 原 桂	こくみん共済coop(全労済)岩手推進本部
委員	嘉倉 賢 雄	一般財団法人ハピネス共済会
委員	八重畑 努	消費者信用生活協同組合
委員	沼田 聡	岩手県学校生活協同組合
事務局	菅野 健 司	岩手労福協
事務局	法領田 万寿男	岩手労福協
事務局	武藤 珠 美	岩手労福協

■2019年度第1回地区代表者会議

岩手労福協は、6月1日(土)、岩手教育会館において2019年度第1回地区代表者会議を開催しました。会議では、事務局から2019年度事業の年間計画、団体会費と各種交付金の取扱い、2019年度実態調査実施等について説明し、地区活動、県労福協への要望等について意見交換を行いました。また、個別課題を抱える地区については、県労福協が引き続き支援していくことが確認されました。

●「暮らしの何でも相談」2018年度相談件数●

2018年度の「暮らしの何でも相談」受付件数は313件(対前年度20件増)でした。増加の主な要因は、リピーターからの相談が増えたことによるものです。半面、初めての相談者が前年度比21件減少しました。内訳をみると、「生活相談」が236件で全体の約75.4%を占めています。この中には「心の悩み相談」とそのリピーターが含まれています。全体的に2018年度の相談内容は前年度と同じ傾向にありました。心に悩みを抱える相談者は、何度も電話をかけていることを自覚しながらも、他に話を聞いてくれる人が周りにいない、頼れる人がいないなど、地域の中で孤立している可能性があり、「暮らしの何でも相談」が唯一の拠り所として頼りにされていることが伺えます。

ライフサポートセンターいわては引き続き、相談者に寄り添いながら、勤労者とその家族の安心・安全な暮らしをめざすことを基本方針に、「暮らしの何でも相談」を中心にライフサポート事業に取り組んでいきます。

〈相談件数推移〉

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
件数	476件	366件	343件	423件	293件	313件

〈相談内訳〉

	労働相談	法律税務	子育て	金銭問題	生活相談	社会保障	総件数
2018年	39件	23件	2件	12件	236件	1件	313件
	12.5%	7.3%	0.6%	3.8%	75.4%	0.3%	100%
2017年	47件	23件	2件	21件	198件	2件	293件
	16.0%	7.8%	0.7%	7.2%	67.6%	0.7%	100%

〈年齢別〉

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計
2018年	1件	80件	59件	130件	18件	18件	2件	1件	4件	313件
	0.3%	25.6%	18.8%	41.5%	5.8%	5.8%	0.6%	0.3%	1.3%	100%
2017年	0件	32件	102件	101件	33件	18件	2件	0件	5件	293件
	0	10.9%	34.8%	34.5%	11.3%	6.1%	0.7%	0	1.7%	100%

アンケート結果から見えた教育費負担と 奨学金問題の今後の課題

昨年秋に実施した「奨学金と教育費負担に関するアンケート調査」は、全国で調査票とWEBアンケートを合わせて16,588件の有効回答がありました。今回のアンケートからは、高騰する大学等の授業料の引き下げや無償化対象の拡大を望む声が多く寄せられたこと、さらには奨学金返済が重荷となり将来の生活設計に深刻な影響を及ぼしていること、など多くの課題が浮き彫りとなりました。

〔アンケート結果のポイント〕

- (1) 子どもの教育費に負担を感じているのは3人に2人
- (2) 高等教育の公費負担の増加を求める声は7割で圧倒
- (3) 国公立で4割、私立大で7割の人が負担の限界
- (4) 「高等教育の無償化」の対象の拡大を望む声が4割
- (5) 有利子から無利子へ、貸与から給付への転換などに強いニーズ
- (6) 奨学金返済の負担が「苦しい」は正規で4割、非正規で6割弱
- (7) 返済負担の重みが「結婚」「出産」「貯金」などへ影響
- (8) 若い世代ほど返済による生活設計への影響が深刻

今年3月、「大学等における就学の支援に関する法律案」の審議が衆議院で始まり、3月20日には文部科学委員会で参考人質疑が行われ、中央労福協の花井圭子事務局長が意見陳述に立ちました。アンケートから見えてきた問題や国民の声をもとに法案等の問題点を指摘し、支援対象を中間層に広げていく道筋を明らかにするよう求めました。参議院では、4月25日に大内裕和中京大学教授と岩重佳治弁護士（奨学金問題対策全国会議事務局長）が参考人として、中間層への支援の必要性や返済困難者の救済制度の改善などについて意見を述べました。こうした意見も参考に国会質疑が行われたことにより、衆参の附帯決議では私たちの要望や課題認識の多くが反映され、次の運動への足がかりができました。

そして5月20日、参議院本会議において「大学等における就学の支援に関する法律案」が可決・成立しました。低所得者層に対する授業料減免や給付型奨学金が拡充されることは前進ですが、将来的な対象者の拡大が見通せず、これまでの中間層への支援までもが後退しかねないなど、多くの問題と課題が残されています。中央労福協は法案成立にあたり、「誰もが安心して学べる社会や高等教育の漸進的無償化の実現をめざして、残された課題の改善に全力で取り組んでいく。」との事務局長談話を発表しました。

中央労福協は、今回のアンケート結果を詳細にまとめた「報告書」とポイントをビジュアル的にまとめた「ミニパンフレット」を作成しました。岩手労福協では、ミニパンフを4月23日、報告書を5月31日に会員団体や関係団体に送付しました。各団体におかれましては、積極的な活用をお願いいたします。

ライフサポートセンターいわて 第12回定期評議員会開催

ライフサポートセンターいわては、第12回定期評議員会を5月27日(月)、ホテルニューカーリーナにおいて評議員総数11名中11名(委任状出席1名含む)が出席して開催しました。

八幡博文理事長は、「本センターは昨年、設立10周年を迎えた。更なる飛躍と皆さんから信頼される活動を念頭におき、今後も勤労者・生活者の総合生活サービスとして相談事業を実施していく。引き続きのご協力をお願いしたい。」と、挨拶を述べました。来賓として、山村千華岩手県労働局雇用環境・均等室長、及川隆盛岡市商工観光部経済企画課長にご祝辞をいただきました。

各議案は法領田事務局長が提案し、質疑応答の後採決が行われ、第1号議案「2018年度活動報告」から第5号議案「2019年度予算(案)」まで、全議案が原案通り可決承認されました。



●2019年度役員名簿

理 事 長	八 幡 博 文	(日本労働組合総連合会岩手県連合会)
副理事長	砂 金 良 昭	(東北労働金庫岩手県本部)
副理事長	齋 藤 健 市	(こくみん共済coop〈全労済〉岩手推進本部)
副理事長	石 川 昌 平	(岩手友愛会)
事務局長	法領田 万寿男	(岩手労福協)
事務局長	菅 野 健 司	(岩手労福協)
理 事	佐 藤 浩 之	(消費者信用生活協同組合)
理 事	佐 藤 伸 一	(日本労働組合総連合会岩手県連合会)
理 事	村 上 純	(ライフサポートセンター北上)
理 事	佐々木 正 人	(ライフサポートセンター宮古)
会計監査	菅 原 芳 勝	(東北労働金庫岩手県本部)
会計監査	赤 坂 徹	(こくみん共済coop〈全労済〉岩手推進本部)

※野中靖志氏は、2019年3月31日付けで副理事長を辞任した。

■ライフサポートセンターいわて2019年度研修会開催

ライフサポートセンターいわては評議員会終了後、「2019年度研修会」を開催しました。テーマに「子どもの貧困・子ども食堂」を取り上げ、特定非営利活動法人インクルいわて理事長の山屋理恵氏に講演をお願いしました。出席者は31名。

山屋理事長は、「子ども食堂」から見える岩手の課題と未来」と題して、これまでの主な活動紹介から貧困の現状分析、そして今後の課題に至るまで自らの体験を通じて分かりやすく話をいただきました。インクルいわては、子ども食堂を単なる食事提供の場とするのではなく、地域づくりやつながりづくりなどの機能を持たせ、子育て支援は究極の未来と地域づくり、というコンセプトで活動しています。また、困難を抱える子どもの問題は、特定の人たちの問題ではなく、すべての人の「未来」と「生きる」につながっている、ということを強く語りかけました。



■信用生協主催の相談会について

消費者信用生活協同組合（略称：信用生協）は、日常生活における様々な暮らしの悩みや不安を抱えている方を対象とした相談会を毎年開催しています。岩手労福協は、この相談会に協賛しています。今年度の相談会日程は下記のとおりです。信用生協の相談員をはじめ、弁護士、保健師、社会福祉協議会相談員、盛岡市消費者生活センター相談員が様々な相談に応じ解決を図ります。相談は無料、詳細は信用生協窓口まで問合せをお願いします。

（１）くらしとお金の安心合同相談会

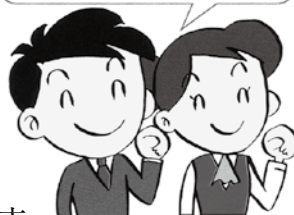
- ・2019年7月13日（土）盛岡市
- ・2019年9月14日（土）盛岡市
- ・2019年12月14日（土）盛岡市
- ・2020年3月7日（土）盛岡市

（２）「解決の糸口を見つけに行こう」相談会

- ・2019年9月14日（土）北上市、一関市、釜石市
- ・2020年3月7日（土）北上市、一関市、釜石市

問合せ先：019-653-0001

私たちに
おまかせください!



借金の返済

生活費

税金や公共料金の支払い

教育資金

車の購入資金

その他お金のこと

岩手労福協って、どんな団体？

岩手労福協は、労働団体並びに福祉事業団体で構成され、労働者福祉活動を総合的に推進することを目的とする団体です。「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」をスローガンに構成団体間の福祉活動の連絡・調整をはかり、福祉事業団体の育成、あるいは勤労者の教育、文化、スポーツ交流等を通じて、すべての働く人々とその家族が安心して暮らせる社会を築くための諸活動を進めております。

設立は1964年(昭和39年)4月8日。人に例えると55歳になりました。設立に尽力した団体は、岩手県労連、岩手地方同盟、岩手労働金庫、岩手県労済生協、岩手県生協連の5団体です。



労福協のシンボルマーク

中央労福協は1981年に全国公募し、同年7月にこのシンボルマークを決定しました。このマークは『人』という漢字をデザイン化したもので、中の輪は人と人の『和』を表しています。

ホームページのご案内

岩手労福協では、ホームページを開設いたしております。イベント予定・活動報告等を掲載しております。是非ご活用下さい。

ホームページ <http://iwate.rofuku.net>

岩手県民のくらしに一番みぢかな保障でありたい。

もしもの入院…通院…に備える

医療共済

ハビネス

団体型医療保険

ハビネス共済会

一般財団法人 ハビネス共済会

〒020-0821 岩手県盛岡市山王町10番6号 山王ハイツ
TEL.019-652-3195(代)・FAX.019-654-7262

☎0120-413816

しらはま1丁目



君の家は窮屈そうだね。
良い不動産屋さん
紹介するよ。

こんにちは。
良いお住まいですね。
いいな、いいなま。



不動産賃貸・売買のことなら当社へご相談ください。

きょうさいライフ

株式会社 きょうさいライフ 岩手県知事免許(3) 第2323号

〒020-0821 盛岡市山王町10番6号 山王ハイツ2F

<http://www.kyosai-life.co.jp>

TEL.019-626-0002 FAX.019-626-3901

(公社)全日本不動産協会会員 (公社)不動産保証協会会員 東北地区不動産公正取引協議会会員

岩手県学校生活協同組合

個人宅配
共同購入

学校生協に
加入して
利用しませんか

商品をご自宅まで
配達します。
カタログでラクラク
お買い物!



自宅でカタログを見て注文。
商品も自宅に届きます。

(食品・雑貨・CD・本・衣類等 毎週約4,000点)

●配達料金1ヶ月…411円(税込)

コープ東北の
インターネットサービス

あっと

@コープ

お問い合わせは

岩手県学校生協 本部
(平日 8:30~17:30)



0120-112246

フリーダイヤル (無料)

岩手県学校生協

検索

<http://www.igcoop.or.jp/>

2019年6月、 全労済から「こくみん共済 coop」へ

7219Z011

こくみん共済 NEWS
coop

全労済は、創立 60 周年を節目に、もっと多くの方に親しんでいただき、
愛される存在となるため、2019 年 6 月より、
新しい姿を表す愛称を「こくみん共済 coop」と定め、活用することとしました。

新しい愛称活用にもなう、ご契約の変更やお手続き等は必要ございません。
また、実施主体(事業体)に変更はございません。

今後もこくみん共済 coop 岩手推進本部をよろしくお願いいたします。

こくみん共済 coop 岩手推進本部 (岩手県労働者共済生活協同組合)
共済ショップ盛岡店 TEL 019-622-0631 共済ショップ一関店 TEL 0191-26-2678
共済ショップ北上店 TEL 0197-65-0160 共済ショップ釜石店 TEL 0193-21-1122



たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 全労済
全国労働者共済生活協同組合 coop

東北ろうきん
サマー
キャンペーン
2019
6/1(土) - 7/31(水)

ろうきんアンバサダー
高梨 麗

「笑顔を繋げたい!」復興支援のカタチ
東北ろうきんとのお取引が東北のチカラに

対象取引のいずれかをご利用いただいた方に
抽選の上
2,500
名様に
1,500円相当の
復興支援
オリジナル
カタログギフト
プレゼント

※画像はイメージです。カタログは実際の
ものと異なる場合がございます。

※キャンペーン期間中に、ご解約やご完済等により応募条件を満たさなくなった場合、抽選権はなくなります。※ATMでのお取引も対象となります。
※キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。※プレゼントはお一人様1つとさせていただきます。※対象の商品概要については店頭で説明書を
ご用意しております。※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

●抽選日：2019年9月中旬頃を予定 ●当選発表：当選されたお客様にご連絡いたします。

2019年6月1日現在

生活応援バンク
ろうきん

東北労働金庫

0120-1919-62
(受付時間: 平日 午前9時～午後5時)
<https://www.tohoku-rokin.or.jp>